

## Contents

1. インカレ男子 団体7位
2. インカレ女子 三連覇達成!
3. 女子大阪遠征・山梨合宿助成金協賛のお礼と報告
4. 2023年度インカレ及び年間総括
5. 全日本女子選抜選手権結果
6. 全日本社会人選手権結果
7. アジア選手権結果/鈴木先輩 銀メダル獲得
8. 新体制のお知らせ・主将抱負
9. 訃報
10. ご支援のお願い (再掲)
11. 幹事会報告



C&Jジャーク126kgを挙げ日本新記録を樹立した田中美奈選手(スポーツ科学部4年)

## インカレ男子 団体7位

12月9日～10日、神奈川県藤沢市の日本大学生物資源科学部体育館で男子のインカレ I 部が開催されました。早稲田は団体戦上位入賞こそありませんでしたが、4年生の西川和真選手が67kg級でメダルを獲得したほか、複数の選手が自己ベストを更新するなど、選手10人で合計87点を獲得し、団体戦7位の成績を収めました。ご支援いただいた皆さま、応援していただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。

第69回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 (I 部)

階級	選手名	学部学年	BEST						TOTAL		
			S	順位	点数	C&J	順位	点数	記録	順位	点数
M67	西川 和真	スポ4	114	3位	6点	150	2位	7点	264	2位	20点
M73	奥野 伊真	スポ2	97	8位	1点	110	8位	1点	207	8位	3点
M81	駒阪 勇気	スポ4	129	4位	5点	155	6位	3点	284	6位	11点
M81	吉野 真太郎	スポ2	129	5位	4点	155	5位	4点	284	5位	13点
M89	小山 秀斗	スポ3	122	5位	4点	151	6位	3点	273	6位	10点
M89	須藤 之博	スポ2	100	8位	1点	125	8位	1点	225	8位	3点
M102	田中 稜真	スポ3	116	8位	1点	145	8位	1点	261	8位	3点
M109	羽田 創	スポ3	125	9位	0点	150	8位	1点	275	9位	1点
M109	菊地 力哉	スポ2	132	5位	4点	182	2位	7点	314	4位	16点
M+109	木口 永遠	スポ4	135	4位	5点	156	9位	0点	291	7位	7点
										団体得点	87点
										団体順位	7位

【所属表記凡例】スポ: スポーツ科学

OB・OGの皆さま、日ごろより早稲田大学ウエイトリフティング部へのご支援、誠にありがとうございます。

12月に藤沢市で行われた全日本大学対抗選手権において男子は団体戦7位の成績となりました。怪我人もいるなかでしたがベストのメンバーで臨み、1点1点の積み重ねがこの結果に繋がったと思います。同時に、近年の成績と比較すると見劣りするところもあり、多くの部員が悔しさを覚えた大会でもあったと思います。

この結果を踏まえ、次年度以降再び早稲田が飛躍するために、部員一人ひとり向上心を持って取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

駒阪勇気 (スポーツ科学部4年)



# インカレ女子 三連覇達成！

12月16日～17日、大阪府羽曳野市のはびきのコロシアムで女子のインカレが開催されました。

昨年に続き女王の座奪還を狙う東京国際大学と最後まで予断を許さない展開となりましたが、早稲田は64kg級で橋本夏実選手、76kg級で田中美奈選手、81kg級で加茂千弦選手が優勝。さらに選手全員がメダルを獲得するなど総合力で勝る早稲田が粘る東京国際を振り切り、3年連続6度目となる優勝を果たしました。インカレ三連覇は創部以来初の快挙です。

また、76kg級・田中選手はC&Jジャーク第三試技で126kgを挙げ、日本新記録を樹立しました。早稲田現役部員による日本記録更新は、2006年女子インカレで富田(城内)史子先輩(代表委員・H19卒)が達成して以来17年ぶりのことです。

ご支援をいただいた皆さま、応援していただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。

第69回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(女子)											
階級	選手名	学部学年	BEST						TOTAL		
			S	順位	点数	C&J	順位	点数	記録	順位	点数
W45	佐々木 暁	社4	58	3位	4点	76	2位	5点	134	2位	14点
W55	木村 咲紀	社4	80	2位	5点	99	2位	5点	179	2位	15点
W55	吉田 いぶき	スポ4	73	3位	4点	100	1位	6点	173	3位	14点
W59	原 志歩	スポ3	85	3位	4点	106	3位	4点	191	3位	12点
W64	橋本 夏実	スポ3	86	2位	5点	113	1位	6点	199	1位	6点
W76	田中 美奈	スポ4	95 CR	1位	6点	126 NR	1位	6点	221 CR	1位	18点
W81	加茂 千弦	スポ4	85	2位	5点	110	1位	6点	195	1位	6点
W+87	吉田 琴乃	スポ4	80	2位	5点	100	2位	5点	180	2位	15点
										団体得点	122点
										団体順位	1位

【所属表記凡例】スポ: スポーツ科学部 社: 社会科学部

昨年12月のインカレで女子は、創部以来初となる「三連覇」を達成することができました。

このような結果を残すことができたのも、ひとえにOB・OG皆さまからの温かいご声援と遠征助成金など多大なるご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。



インカレ三連覇を果たした女子部員

インカレでは「チーム早稲田」の一体感を強く感じました。選手や指導者だけでなく、遠方からわざわざ大阪まで駆けつけてくださったOB・OGの皆さま、部員保護者の皆さま、全ての方々の力があってこそ、三連覇を達成することができたと実感しております。

憧れであった早稲田大学ウエイトリフティング部で素敵な仲間と出会い、共にインカレに挑めたことはこの上ない幸せです。新チームとなりましたが、諸先輩方から受け継いだバトンを次は「4連覇」に向けて後輩たちが全力で繋げてくれることと思います。

今後とも、ご支援ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田いぶき (スポーツ科学部4年)

# 女子大阪遠征・山梨合宿助成金協賛のお礼と報告

インカレ女子の大阪遠征と部の山梨合宿に向けた助成金の募金に対し多大なるご支援を賜りました。心から感謝申し上げます。このたびの募金にご協力いただいた皆さまのお名前をご紹介します。

◆助成金協賛総額 1,543,000円

◆寄付者ご芳名 ※敬称略

井田浩史(S34) 田口薫(S42) 山内英雄(S42) 村岡芳彦(S44) 上野稔(S45)  
 谷川吉史(S45) 森武彦(S45) 鵜飼信一(S46) 岩永勉(S47) 正木隆至(S48)  
 鷲田徹夫(S49) 石橋義久(S51) 志田典明(S51) 宮川優(S52) 海崎良仙(S54)  
 荒木宏久(S55) 高橋靖夫(S57) 相場浩徳(S58) 加納修(S59) 野中弘一(H01)  
 根本進(H05) 森田稔哉(H07) 谷川高(H09) 升田友也(H09) 清水大輔(H11)  
 吉野千枝里(H25) 武田健(H29) 後藤虹海(R04) 久保美波(R05)

皆さまからいただいた助成金は部員・指導スタッフの遠征費用の一部としてありがたく使わせていただきました。また、ご支援いただいた皆さまには、部からインカレ女子出場選手8名の署名が入ったお礼状と「インカレ女子V3記念Tシャツ進呈のご案内」を送付させていただきました。

拝啓

厳寒の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、過分なご寄付を賜りまして、誠に有難うございました。

ご厚志に聞しましては、昨年末に大阪府で開催されました第69回全日本大学対抗女子選手権大会にて、有効に活用させていただきました。

また、先の大会では3連覇を果たすことが出来ました。これもひとえに皆様からのご声援があつての結果であると存じます。先発方が繋いでくださった3連覇を必ずや4連覇に繋げられるよう、これからも精進して参りますので、変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

略儀ではございますが、書面にて御礼申し上げます。

敬具

令和6年1月22日

早稲田大学ウエイトリフティング部

OB係 原 志歩

45kg級 佐々木 暁  
 55kg級 木村 咲紀  
 55kg級 吉田 いづみ  
 59kg級 原 志歩  
 64kg級 橋本 夏実  
 76kg級 田中美奈  
 81kg級 加茂 千弦  
 +87kg級 吉田 琴乃



## 【インカレ女子V3記念Tシャツ進呈のご案内】

2023年度インカレ女子三連覇を記念してオリジナルデザインのTシャツを制作することになりました。

山梨・大阪遠征助成金の募金に協賛いただいたOB・OGの皆さまにお礼として1枚進呈いたします。

また、2枚以上ご希望がございましたら追加1枚につき【4,000円】にて承ります。

つきましては、以下にご希望のサイズと枚数をご記入の上、【2月7日】までに投函をお願いいたします。

- ✓ デザインは検討中（カラーは1色のみ）です。
- ✓ 決定後メール配信等でお知らせいたします。
- ✓ 素材は「綿100%・ヘヴィーウエイト」となります。
- ✓ お届けは3月以降の予定です。
- ✓ サイズ：S・M・L・XL・XXL・XXXL

サイズ	枚数

お名前

※ 2枚以上ご希望の場合、代金は部の口座へ【2月29日】までにお振込みをお願いします。

りそな銀行 早稲田支店  
 普通預金 1300922  
 ワセダイガクウエイトリフティング

# 2023年度インカレ及び年間総括

松本潮霞コーチに2023年度の振り返りとともに男女のインカレを総括してもらいました。

2023年度はコロナが明け、元どおりとは言えないまでも本格的に対面や集団での活動を再開することができました。特に数多くの制約があるなかで入学してきた今の4年生にとっては、アフターコロナでのチームビルディングは困難の連続だったことと思います。

しかし、個々の強みと弱みを理解しながら、互いが部の一員としてサポートし合える関係を構築し、話し合いを通じて団結力を高めていきました。「応援されるチーム」や「優勝する選手」はどのような姿であるべきかを常に追求し続けた結果が、インカレでの成果に繋がったのだと思います。先輩方から託された「襷」を繋いでのインカレ女子「三連覇」達成、歴史的な年となりました。

いつも支えてくださる皆さまに良いご報告ができるよう、今年も「実り豊かな稲穂」であるよう、スタッフ一同選手をサポートしてまいります。引き続き応援のほどよろしくお願い申し上げます。

松本潮霞（コーチ・H26卒）

## 全日本女子選抜選手権結果

11月22日～23日、佐賀県有田町の歴史と文化の森公園 焱の博記念堂で全日本女子選抜選手権及び全日本社会人選手権が開催されました。

女子選抜は、55kg級で小堀美穂選手、+87kg級で吉田琴乃選手が優勝、76kg級では柏木麻希選手が2位、吉武温子選手が3位入賞を果たすなど大会を盛り上げました。

また、部員4人で臨んだ早稲田女子は、55kg級で吉田いぶき選手がC&Jで大会新記録をマークするなど奮闘しましたが、団体戦6位でレディースカップには手が届きませんでした。



76kg級の表彰台上に立つ柏木選手と吉武選手

第15回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会

階級	選手名	学部学年	BEST				TOTAL	
			S	順位	C&J	順位	記録	順位
W45	佐藤 日路	スポ4	50	12位	65	13位	115	12位
W55	小堀 美穂	R04卒 宇都宮市役所	80	1位	102	2位	182	1位
W55	吉田 いぶき	スポ4	73	5位	106 CR	1位	179	7位
W55	原 沙織	R05卒 Nexus(株)	65	11位	95	5位	160	8位
W59	徳田 七海	スポ2	73	5位	98	3位	171	4位
W76	柏木 麻希	H31卒 宮津天橋高校(教)	94	2位	113	2位	207	2位
W76	吉武 温子	R05卒 早稲田大学大学院	90	3位	108	3位	198	3位
W+87	吉田 琴乃	スポ4	80	1位	107	1位	187	1位

【所属表記凡例】スポ: スポーツ科学

# 全日本社会人選手権結果



全日本女子選抜選手権に続き、11月24日～26日に行われた全日本社会人選手権では、67kg級で木村勇喜選手、73kg級で佐藤康太郎選手が優勝。さらに、73kg級では生頼啓暉選手が2位、安達貴弘選手が3位でメダルを獲得するなど早稲田OBの活躍が目立ちました。

最優秀選手賞を獲得した佐藤康太郎選手

第60回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会								
階級	選手名	学部学年	BEST				TOTAL	
			S	順位	C&J	順位	記録	順位
M67	木村 勇喜	R03卒 白衛隊体育学校	130	1位	155	2位	285	1位
M73	大塚 裕也	H22卒 チームめじろん	84	23位	116	17位	200	19位
M73	安達 貴弘	H25卒 チームはびりゆう	120	2位	148	3位	268	3位
M73	生頼 啓暉	R04卒 早稲田ウエイトリフティングクラブ	114	4位	155	2位	269	2位
M73	佐藤 康太郎	R05卒 白衛隊体育学校	143	1位	178	1位	321	1位
M81	知念 勇樹	R02卒 ANA大阪空港(株)	120	6位	168	3位	288	5位
M81	西野 溪心	R04卒 白衛隊体育学校	140	2位	155	5位	295	4位
M96	柏木 良太	R05卒 東舞鶴高校(教)	133	4位	157	4位	290	4位

## アジア選手権結果/鈴木先輩 銀メダル獲得

2月3日～10日、ウズベキスタンで開催されたアジア選手権大会に鈴木梨羅選手が出場しました。鈴木選手は49kg級でスナッチ82kg、C&ジャーク109kg、トータル191kgを挙げ、C&ジャークとトータルで2つの銀メダルを獲得しました。安嶋千晶選手は競技を棄権しました。鈴木選手と安嶋選手は、4月にタイで開催されるIWFワールドカップ大会に日本代表として派遣されることが決まっており、同大会がパリオリンピック代表権獲得に向けた最終戦となります。部員・OB・OG一同、お二人の活躍を期待し応援しています。



(写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)

小山秀斗主将を中心に部の新体制が始動しました。

主将	小山秀斗（スポーツ科学部3年）
副将/女子主将	原志歩（スポーツ科学部3年）
主務	橋本夏実（スポーツ科学部3年）
副務	須藤之博（スポーツ科学部2年）
OB・OG係	堤茉央（スポーツ科学部2年） 田中陽（スポーツ科学部1年）

主将、女子主将に抱負を伺いました。皆さま、応援よろしくお願いいたします。

## 主将 小山秀斗

こんにちは。このたび主将に就任いたしました、小山秀斗です。

新体制における目標は、「インカレ男子3位、女子4連覇」です。またチーム像として、男子は「話し合いができるチーム」、女子は「全員が主役になれるチーム」を目指します。

これらの目標を達成できるよう、部員全員が「謙虚さ」、「素直さ」、「周りへの感謝」の3つを持って競技に取り組んでいけるような雰囲気を作っていきます。また私自身も、結果をもって姿勢を示し、名実ともに主将として相応しい成績と態度を見せていきたいと思っております。

日ごろから支えてくださる全ての方々、指導して下さるコーチ陣の先輩方への感謝の気持ちを持ち、結果で恩返しができるよう、チーム一丸で必ず目標を達成します。

## 副将/女子主将 原志歩

このたび、早稲田大学ウエイトリフティング部副将/女子主将に就任しました、原志歩です。

昨年12月に行われたインカレで女子は目標としていた三連覇を成し遂げることができました。ご支援、ご声援いただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。

今年度の目標は「インカレ4連覇」です。女子は4月に新入部員5人を迎え、10人のチームになる予定です。少人数だからこそ一人ひとりが挙げるべき重量・目標を明確にし、「全員が主役のチーム」を作りたいと考えています。そして、12月のインカレでは先輩方から受け継いだバトンを必ずや4連覇に繋げ、4年連続で「紺碧の空」を会場に響かせます。

私自身も結果と行動でチームを優勝に導くことができるよう、主将としての責任感を持って一年間全うしていきます。早稲田大学ウエイトリフティング部に一層のご支援、ご声援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 訃報

伊藤茂先輩（監事・S51卒）が永眠されました。

長年にわたる当部ならびに当会へのご支援に対し心から感謝申し上げ、哀悼の意を捧げます。

